



ヘビはいつ脱皮するの

季節に関係なく、年に1～2回の脱皮

脱皮の時期は季節と関係なく、回数も、ヘビの種類や環境で変化します。1か月に1回から、年1～2回ぐらいがふつうです。子どものときは多く、大人のヘビになると1年に1回ぐらいです。

脱皮の仕方

ヘビは一度に全部の皮をぬいで、新しい皮と取り替えます。脱皮の時期になると、体の光沢がなくなり、目がにごってきます。

新しい皮ができると、口の先端の古い表皮を、とがったものにひっかけておいて、前に進みます。すると、皮は裏返しになりながらぬけていきます。女の人の、ストッキングの脱ぎ方と同じです。脱皮は2～3分で終わります。5メートルぐらいのニシキヘビでは10分です。

脱皮するわけ

ヘビやトカゲは、皮ふが角化した「うろこ」でおおわれています。うろこはかたくて、のびぢみできません。体が大きくなり、きゅうくつになると脱皮します。人間では、体に合わなくなった洋服は「お下がり」にして弟や妹が着ることができますが、ヘビは抜けがらとして捨ててしまいます。

トカゲの脱皮

トカゲの脱皮は、ヘビとちがって、古いうろこが、ぼろぼろとはげ落ちます。ヘビのよくなきれいな抜けがらは残りません。（監修・杉浦 宏）

